



香川県生協連

News

2007
Vol.9

香川県生活協同組合連合会／〒760-8504 香川県高松市新北町14-27 ☎087-835-6815

第32回通常総会開催

く地球環境などのさまざまな課題に、一人ひとりができることから取り組もう

すべての議案が可決&承認。

07年度の活動にも一致団結して前進。

07年5月31日。コープかがわ本部において香川県生活協同組合連合会・第32回通常総会が開催されました。馬越会長挨拶から始まった総会は、とどろきなく進み、役員補充の件を含む全議案が満場一致で可決・承認されました。今回のNewsでは、馬越会長とご来賓の香川県総務部の納田和重次長、そして、閉会の挨拶で総会を締めくくった藤岡副会長のメッセージを紹介しします。



県連会長(コープかがわ理事長) 馬越 隆良

「景気は上向きになっていると言われていますが、私達に実感はありません。さまざまな問題や課題を抱えている大変な時代だからこそ、志を高く持ち挑戦をしていかなければなりません。県連では、昨年30周年を迎え、記念生協大会をサンメッセ香川で開催し、1,100名以上の組合員が一堂に会し、取り組み報告や記念講演を行いました。社会的役割発揮に取り組む上で、特に地球温暖化による気候は世界的にも深刻な課題で、コープかがわでも積極的な取り組みを行っています。エコ基金、マイバック持参など地球環境を守る活動を推進し、小さなことから一人ひとりができる活動と呼びかけています。07年度は、この環境への取り組みをはじめ、新生協法への対応準備などに力を入れ、各生協で力を合わせて立ち向かっていきましょう。」



香川県総務部 納田 和重次長

「香川県総務部では、消費者行政をはじめ、青少年や男女共同参画など、県民の生活にとっても近い仕事を行っている部署です。私もその一員として先日、エコバックのデビューを果たしましたが、レジを通った後は誇らしい気分でした。これは、私のちょっとしたエピソードですが、県の総務部として感じているのは、消費者を取り巻く環境が大きく変わっていることです。消費の利便性が高まると共に危険性も高くなっています。契約者保護や青少年が関わる問題なども含めて、それぞれの分野から課題に取り組むことが大切だと痛感しています。県連がされて

いる活動は、地域にとっても大きな意味があります。これからも、次の世代にいい環境を残していけるように指導的な立場として、社会的な活動に取り組んでいただければと願っています。」
「今日、私たちを取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少などかつて日本が経験したことのない厳しい状況になっています。」「10次中計」の初年度として、県連としても重点課題の達成を目標に、全員で向かっていきましょう。」



役員

役員紹介

会長	馬越 隆良	生活協同組合コープかがわ	理事長
副会長	藤岡 高之	香川県労働者共済生活協同組合	専務理事
専務理事	鶴見 幸雄	香川県庁消費生活協同組合	専務理事
	山越 一義	香川県学校生活協同組合	専務理事
	小山 雅弘	香川県庁消費生活協同組合	専務理事
	笠井 延昭	生活協同組合コープかがわ	専務理事
	山田佳代子	生活協同組合コープかがわ	専務理事
	鎌田真由美	高松市職員消費生活協同組合	専務理事
	森近 佳子	香川大学生生活協同組合	専務理事
	塩田 哲也	三菱マテリアル直島生活協同組合	専務理事
	姫田 英二	香川医療生活協同組合	専務理事
	山田 道子	生活協同組合コープ自然派オリーブ	専務理事
	浜崎 敬三	生活協同組合コープ自然派オリーブ	専務理事
	坂東 和夫	香川県労働者共済生活協同組合	専務理事
監事			管理部長(新任)

全国の生協の07年度重点課題

- (1)事業構造改革をすすめる、ふだんのくらしに役立つ事業を確立しよう
- (2)経営構造改革をすすめる、購買事業経常剰余率1.5%を実現しよう
- (3)事業連合のさらなる統合の質的向上に向けての事業連帯を前進させよう
- (4)くらしの安心をめざすいきいきとした活動を発展させよう
- (5)社会的役割発揮の取り組みを前進させよう
- (6)生協法改正に関わる取り組みを促進

07年度香川県連活動方針と重点課題

基本目標

- 会員生協の主体的結集を基礎に、県連の2つの機能(1)渉外・広報活動機能、(2)指導・調整機能)を果たすことで、
- (1)会員各生協が強化されること、効率的経営の実現で経営強化が行われること
 - (2)生協の社会的認知度が高まり役割が果たされること
- 以上2点を目指して活動を行います。

07年度重点課題

- 1 理事会を中心とした機関運営を進めます。
県連理事が意志決定機関であるとともに、会員生協のトップ間の交流の場として重視し、積極的に運営します。
・会員生協の発展健全化に関して、情報交換を強め、県連としての機能を発揮します。
- 2 増大する生協の期待に応え、対外的な代表窓口機能を強めます。
・県連事務局は会員情報の把握に努め、情報収集と情報提供機能を果たします。
・消費者問題に取り組み、消費者団体としての県連の機能を果たします。
・各種審議会、委員会等に参加し行政等への消費者意見の反映に努めます。
・平和の取り組み、環境・福祉への貢献強化とこれまでの諸団体との連携を進めます。
- 3 県連主催会議、及び共催会議、研修会等を年間スケジュールに基づき実施し、会員同士の交流と連帯を強めます。
・生協大会を幹部研修と位置付け、記念講演を開催します。
・中堅職員ビジネスセミナー研修を実施します。
・福祉事業化について、生活協同組合コープかがわと香川医療生協による取り組みの検討を引き続き行います。

07年度香川県連年間スケジュール(予定)

- | | |
|-----|--|
| 4月 | ・中四国地連 07年度第1回運営委員会
・日本生協連 第57回通常総会 07年度中四国地区代議員会議
・県連 第1回理事会
・県連 監事会 |
| 5月 | ・県連 第32回通常総会 |
| 6月 | ・日本生協連 第57回通常総会 |
| 7月 | ・中四国地連 第2回運営委員会
・ピースアクション
・全国県連責任者会議 |
| 8月 | ・県連 第2回理事会
(会員生協の決算・総代会についての情報交換) |
| 9月 | ・中四国地連 07年度第1回大規模災害対策連絡会
・第23回中四国生協・行政合同会議(島根) |
| 10月 | ・中四国地連 第3回運営委員会
・県連 中堅職員ビジネスセミナー研修
・県連 第3回理事会
(上半期の経営状況についての情報交換) |
| 11月 | ・県連 生協大会 |
| 12月 | ・中四国地連 第4回運営委員会
・全国県連責任者会議 |
| 1月 | ・中四国地連 07年度第2回大規模災害対策連絡会 |
| 2月 | ・中四国地連 第5回運営委員会 |
| 3月 | ・県連 第4回理事会 |

06年度活動報告

全国の生協の06年度活動のまとめ

- 【基調】
- ①事業・経営の構造改革を徹底し、事業連携を前進させ、ふだんの暮らしに最も役立つ事業の確立を進めよう。
 - ②くらしの安心をめざし、新しい社会システムの定着と社会的役割発揮の取り組みを前進させよう。
- 1) 経営構造改革を進め、購買事業の経常剰余率1.5%を実現しよう。
- 【重点課題】
- 人件費の構造改革で販売管理費1ポイント削減
年齢構成などの構造的問題や、労働力向上のためのシステムづくりに対応。
 - 赤字店舗の閉店・撤退等店舗事業戦略の再検討
前年実績はぎりぎり確保。継続的な見直しと実施が求められています。
 - 財務体質の強化
内部保留を核とした自己資本の強化はすすまず。
 - 個人情報保護を含むコンプライアンス経営の確立
基盤づくりは進展。職務編成、人事制度、ISO規格などのテーマ別システムの運用が課題。
- 2) 事業連合の統合の質を高め、事業連帯を前進させよう。
- 【重点課題】
- 事業連合ごとに統合の質を高める実行プランの確定
・無店舗事業の企画統合、物流機能・情報システムの統一などのプランづくりに取り組みました。
 - 日本生協連の場で全国的な事業連携の推進
・コープ商品の共同開発、NB商品の共同仕入れなど分野別の事業連携が進展。
- 3) くらしの安心をめざす生き生きした活動を発展させよう。
- 【重点課題】
- 新しい組合員組織政策の確立
・「これからの生協における組合員組織と参加のあり方に関する提言」がまとめられました。
 - 温暖化防止自主行動計画・環境保全活動の推進
・配送車の省エネ、容器包装リサイクル、環境配慮商品の開発の他、家庭での省エネを推進。
 - くらしの助け合い活動・福祉活動の充実
・「子育て支援」「障がい者支援」など活動の領域を拡大。
 - 子育て支援・食育の取り組みの推進
・「生協の子育てひろば活動」、「コープWelcome赤ちゃんキャンペーン」、「たべる*たいせつフェスティバル」などを実施。
 - 地域における生き生きしたコミュニティ活動の推進
・「わが家のくらし見直し活動」などでファシリテーターを養成。
- 4) 新しい社会システムの定着と社会的役割発揮の取り組みを前進させよう。
- 【重点課題】
- 消費者問題の取り組みと消費者団体訴訟制度の活用準備の推進
・06年度消費者団体訴訟制度制定。消費者機構日本の支援強化。
 - 食品安全システムの定着と普及の推進
・食の安全にかかわる国への意見反映のほか、都道府県の基本計画作りに参加。
 - 生協改正法に関する検討を進め、社会的理解を拡大。
・07年改正実現を目指し、広く理解促進をすすめた。

- 社会保障の給付と負担について学習を実施。
・長期的な視点で検討を行い、基本的な論点を整理。
- 平和で安心できる地域社会の担い手としての役割発揮の推進。
・ピースアクションを開催、ユニセフ活動、震災対策、子ども110番の拡大などへの取り組み。

香川県連の06年度活動のまとめ

1.理事会を中心とした機関運営を進めます。

- 定期的に理事会を開催し経営概況等の情報交換を行いました。
- 昨年度に引き続き、県連広報誌を発行し、内外に広報活動を行いました。
- 「個人情報保護取扱事業者保険」の加入状況に関する調査を行いました。

2.増大する生協の期待に応え、対外的な代表窓口機能を強めます。

- 自治体や関係諸団体の各種審議会、委員会などに参加し、消費者団体としての意見の反映に努めました。
- 日本生協連中四国地連の呼びかけによる「大規模災害対策連絡会」に参加しました。

3.県連主催、共済会議、研修会等を年間スケジュールに基づき実施し、会員同士の交流と連携を強めます。

- 「30周年記念行事検討委員会」を設置し、記念行事として「創立30周年記念生協大会」を実施。
- 30周年を機に県連を母体とした福祉事業展開について検討を行い、コープかがわと医療生協による取り組みについて検討に着手しました。
- 職員研修の一環として、中堅職員ビジネスマナー研修を開催しました。
- 第22回中四国生協、行政合同会議に参加しました。

30周年記念事業&研修事業

①創立30周年記念生協大会
2006年11月30日

会場のサンメッセ香川には役職員・組合員など約1,100名が参加。単協の取り組み報告、記念講演を行い学びあいました。

②中堅職員ビジネスマナー研修
2006年10月20日

7回目となる中堅職員ビジネスマナー研修。部下への指導ポイントを習得するため、基本マナー、電話対応マナー、来客対応マナーについて、ロールプレイングでの研修を行いました。

06年度決算報告

比較貸借対照表 (単位:円)					
資産の部			負債及び資本の部		
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績
現金	0	0	未払費用	0	0
普通預金	9,757,840	13,221,304	仮受金	0	0
定期預金	12,300,000	12,300,000	未払税金	80,000	350,000
仮払金	0	0	預り金	0	0
未収入金	0	0	会員出資金	2,840,000	2,840,000
関係団体出資金	183,000	183,000	法定準備金	4,000,000	4,000,000
電話加入権	50,300	50,300	任意積立金	10,382,895	10,382,895
			繰越剰余金	8,181,709	7,681,536
			当期剰余金	△3,193,464	500,173
合計	22,291,140	25,754,604	合計	22,291,140	25,754,604

諸勘定明細 (単位:円)			
科目及び内訳	金額	科目及び内訳	金額
〈普通預金〉			
百十四銀行本店	2,176,287		
香川労金本店	7,581,553		
〈現金〉			
現金	0		
〈定期預金〉			
百十四銀行本店	10,000,000		
香川労金本店	1,300,000	〈会員出資金〉	
香川労金本店	1,000,000	香川県庁消費生活協同組合	690,000
		生活協同組合コープかがわ	630,000
〈関係団体出資金〉		三菱マテリアル直島生活協同組合	450,000
香川労金	103,000	香川県学校生活協同組合	290,000
日本生協連	50,000	生活協同組合コープ自然派オーリーブ	250,000
日生協賀川教育基金	30,000	高松市職員消費生活協同組合	240,000
		香川大学生生活協同組合	160,000
		香川医療生活協同組合	70,000
		香川県労働者共済生活協同組合	50,000
		四国学院生活協同組合	10,000

損益計算書 (単位:円)			
科目	本年実績	本年予算	予算比
(経常損益の部)			
I 会費収入	3,931,760	3,893,000	101.0%
II 管理諸経費	7,086,634	8,429,000	84.1%
事務委託費	1,584,000	1,584,000	100.0%
広告宣伝費	147,000	290,000	50.7%
教育文化費	137,970	630,000	21.9%
会議費	175,417	200,000	87.7%
渉外費	0	100,000	0.0%
事務消耗品費	6,527	50,000	13.1%
調査研究費	132,048	210,000	62.9%
通信費	139,329	100,000	139.3%
旅費交通費	33,292	100,000	33.3%
会費	151,000	150,000	100.7%
雑費	6,613	10,000	66.1%
租税公課	1,561	5,000	31.2%
30周年記念事業費	4,571,877	5,000,000	91.4%
III 事業剰余金	△3,154,874	△4,536,000	69.6%
IV 事業外収益	41,410	5,000	828.2%
助成金	0	0	—
受取利息配当金	8,410	5,000	168.2%
雑収入	33,000	0	—
V 事業外費用	0	0	—
支払利息	0	0	—
VI 経常剰余	△3,113,464	△4,531,000	68.7%
法人税等	80,000	350,000	22.9%
VII 当期剰余金	△3,193,464	△4,881,000	65.4%
繰越剰余金	8,181,709	8,181,709	100.0%
当期末処分剰余金	4,988,245	3,300,709	151.1%

